

令和6年度 障害福祉サービス事業者等 集団指導講習会（個別編）

児童発達支援・放課後等デイサービス・
居宅訪問型児童発達支援・保育所等訪問支援


個別支援計画の記載について

横須賀市民生局福祉こども部指導監査課

個別支援計画の記載について 1

アセスメント及び支援内容検討のポイント

- ・ こどもの年齢及び発達の程度に応じた意見の尊重
- ・ こどもの最善の利益の優先考慮
- ・ 5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）の視点（※児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援）

 こどもと家族の状況を多様な観点から確認・分析し、ニーズや課題を把握



オーダーメイドの支援へ

個別支援計画の記載について 2

利用児及び家族の生活に対する意向	こども本人や家族の意向を聴いた上で、家族より得た情報やこどもの発達段階や特性等を踏まえて、整理して記載
総合的な支援の方針 (1年を目途。それ以上の期間も可)	<p>こどもや家族、関係者が共通した状況認識と支援の見通しを持つため、事業所として、こども等の状況の見立てとどのように支援をしていくのかという方針 以下の観点を踏まえる。</p> <ul style="list-style-type: none">① 障害児支援利用計画、障害児支援担当者会議等で求められている事業所の役割② 家庭やこどもが通っている保育所や学校等での生活や育ちの視点③ 保育所等の併行利用や移行等のインクルージョンの視点④ (継続利用の場合)モニタリング結果を踏まえたPDCAサイクルによる適切な支援
長期目標 (概ね1年)	総合的な支援の方針で掲げた内容を踏まえて目指す目標
短期目標 (概ね6か月)	長期目標で掲げた内容を踏まえて目指す目標

個別支援計画の記載について 3

支援の標準的な提供時間
等（曜日・頻度、時間）

- ・ 利用曜日・提供時間等を記載。
- ・ 計画及び延長時間を別表で定めることも可。

全てのサービスにおいて、支援時間は30分以上とし、30分未満の支援の提供は原則報酬の対象外としていることから、時間区分の創設に関わらず、**児童発達支援及び放課後等デイサービスにおける主として重症心身障害児を通わせる事業所、共生型、基準該当、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援においても、個別支援計画に支援の提供時間を定める。**

個別支援計画の記載について 4

支援目標及び具体的な支援内容等

支援目標

- ・ 支援期間終了の際（モニタリング時）に、到達できているであろう「こども本人や家族の状況」を具体的な到達目標として記載する。
- ・ こども本人や家族の意向等だけでなく、アセスメントの結果も踏まえて、必要と考えられる支援ニーズも含めて目標設定を行う。
- ・ 到達目標については、主語はこども本人や家族となるよう記載することを基本とする。

※「移行支援」「地域支援・地域連携」については、支援方針や連携体制によって、事業所・関係機関・関係者等が主語になることは可。

個別支援計画の記載について 5

支援目標及び具体的な支援内容等

支援内容

- ・ 支援目標（具体的な到達目標）で設定した目標に向けて、事業所がどのような支援、工夫、配慮を行うのかを具体的に記載。
- ・ 「本人支援」については、具体的に設定した支援内容と5領域との関連性を記載。（※児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援）
- ・ 「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」については、家族や関係機関への具体的な働きかけや取組等について記載。（5領域との関連性の記載は不要）

個別支援計画の記載について 6

支援目標及び具体的な支援内容等

<p>本人支援</p>	<p>記載 必須</p>	<p>本人への発達支援について、5領域（全て）との関連性を含めて記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの支援が複数の領域に重なることは可 ・保育所等との併行利用や複数の障害児通所支援事業所を利用している場合、保育所等や他の事業所での支援内容とお互いの役割分担を踏まえた上で、自事業所における支援について記載
--------------------	-------------------------	--

例

項目	支援目標（具体的な到達目標）	支援内容(内容・支援の提供上のポイント・5領域との関連性等)	
本人支援	「どうぞ」と言われてから活動に取り組み、遊具に合わせた体の調整ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会を設けてから声をかける。 ・手の平、足の裏、お尻等体を支えたり、接地している感覚をつかみやすくするため、つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びを提供する。 	人間関係・社会性運動・感覚
本人支援	嫌な時やお願いをする時に、身振りやことばで伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な伝え方のモデルを大人が示す。 ・簡単なやり取りを端的に都度促していく（本人がストレスをため込まないように、執拗な繰り返しは行わない）。 ・本人からの表出や要求に可能な限り応え、伝わったことの楽しさを伝えていく。 	認知・行動言語・コミュニケーション
本人支援	<p>「できた」という実感を持てるよう、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事：スプーン、フォーク、箸を使って、潰す、切る、混ぜる等の遊びの要素を強調して行う。 ・衣類の着脱：どのような形であれ、身にまとうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使用と手の操作性を強調して提供する。特に着脱は、外遊びや水遊び等、本人が楽しめる活動の前に重点的に取り組む。 ・服を頭上に掲げる程度の行動を促すところから、スモールステップで始めていく。 ・身だしなみや整え方の観点は次のステップとし、大人がサポート・仕上げを行う。 	健康・生活

個別支援計画の記載について 7

支援目標及び具体的な支援内容等

家族支援	記載 必須	<p>こどもの成長・発達の基盤となる親子関係や家庭生活を安定・充実させる観点から、家族支援について記載。（5領域との関連は不要）</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none">・ こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座やペアレントトレーニングの実施・ 家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助・ レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援・ 保護者同士の交流の機会の提供（ピアの取組）・ きょうだいへの相談援助等の支援・ 子育てや障害等に関する情報提供 等
------	----------	--

例

項目	支援目標（具体的な到達目標）	支援内容(内容・支援の提供上のポイント等)
家族支援	日常生活において、本人の意思を大切にしながら、やり取りをする場面を増やす。	<ul style="list-style-type: none">・ 本人が自分で考えたり選んだりすることができるように、一呼吸おいてから次の提案をしたり、具体的な選択肢を2つ提示して選ぶ機会を設ける等、具体的な方法をお伝えし、実践していただく。・ 本人のコミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する。

個別支援計画の記載について 8

支援目標及び具体的な支援内容等

移行支援	記載 必須	<p>インクルージョン推進の観点から、こどもや家族の意向等も踏まえつつ、保育所等の併行利用や移行に向けた支援、同年代のこどもとの仲間づくり等の支援について記載。</p> <p>※必ずしも保育所等への具体的な移行だけを念頭に置くものではなく</p> <ul style="list-style-type: none">・ 将来的な保育園等入園・入学等に向けた準備・ 併行利用先の保育園・学校等での生活や支援の充実・ 地域の他のこどもと繋がりながら日常生活を送ることができるようにすること 等 <p>利用児童の地域社会への参加・包摂に係る支援が含まれるものであること。</p>
------	----------	--

個別支援計画の記載について 9

支援目標及び具体的な支援内容等

移行支援	記載 必須	<p>【例】 ・ 保育所等移行先との調整、支援内容等の共有、受入体制づくりへの協力や相談援助支援</p> <ul style="list-style-type: none">・ 移行を見据えて支援目標や支援内容を設定しての本人への発達支援（★）・ 進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助・準備支援（★）・ 障害特性等を踏まえた一貫した支援を行うため、併行利用先等とこどもの状態や支援内容等の情報共有や擦り合わせを行う等の取組・ 地域の保育所等や子育て支援サークル、地域住民との交流等 <p>（★）移行支援の視点を持った本人支援や家族支援を行う場合、「項目」の欄は切り分けず、「本人支援」「家族支援」と「移行支援」を併記することで可。</p>
------	----------	---

例

項目	支援目標（具体的な到達目標）	支援内容(内容・支援の提供上のポイント等)
移行支援	日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。	<ul style="list-style-type: none">・ 必要に応じて保育園を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもとの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。・ 保育園の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を交換する（保育園からの電子連絡については、お手数ですがスクリーンショット等を送ってください）。

個別支援計画の記載について 10

支援目標及び具体的な支援内容等

地域支援・ 地域連携

必要に 応じて

包括的な支援を提供する観点から、こども・家族の生活や育ちの支援に関わる関係機関等と連携した取組について、記載。

※個別支援計画であり、計画の対象である こども・家族への支援に係る取組を記載する。

- 【例】
- ・こどもが通う保育所等や学校等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組（★移行支援の取組として記載している場合は、再掲不要）
 - ・こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関等との情報連携や調整等の取組
 - ・こどもに支援を行う発達障害者支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点等との連携の取組
 - ・こどもが利用する相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携の取組等

例

項目	支援目標（具体的な到達目標）	支援内容(内容・支援の提供上のポイント等)
地域支援・ 地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。	<ul style="list-style-type: none">・連携会議を定期的に行い、情報収集・役割分担について協議する。・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。

個別支援計画の記載について 11

達成時期・担当者等・留意事項・優先順位

達成時期	<ul style="list-style-type: none">・ 支援目標を達成するために必要となる期間を設定する。・ 個別支援計画については、6か月に1回以上の見直しが求められているため、達成時期についても最長6か月後までとする。1～3か月で達成する目標も積極的に検討していくこと。
担当者・ 提供機関	<ul style="list-style-type: none">・ 主として支援を提供する担当者の氏名や職種等を記載する。・ 「移行支援」や「地域支援・地域連携」において、関係機関との連携を行うことを支援内容として設定している場合には、具体的な連携先である機関名等を記載する。

個別支援計画の記載について 12

達成時期・担当者等・留意事項・優先順位

留意事項

- ・ 支援内容に設定した取組が、加算の算定を想定している取組の場合は、算定する加算やその頻度等について記載（例：子育てサポート加算、家族支援加算、関係機関連携加算等）
- ・ 個別支援計画とは別途計画作成が必要な加算についても、個別支援計画との関連性を記載（例：専門的支援実施加算、自立サポート加算等）
- ・ 家族の役割、支援の進め方等、支援について補足事項があれば記載

優先順位

- ・ こどもや家族の意向等を踏まえた上で、「本人支援」の各支援の優先順位を設定。こどもの発達段階や特性等について、こどもや家族と共通理解を図り、共に考えながら設定することが望ましい。
- ・ 優先順位として番号を振ることのほか、◎や○等で優先度を示すことも可。また、優先度がつけられない又は判断できない場合には空欄にすることや、同一の番号とすることも可。
- ・ 「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」については、優先順位の記載は不要。

個別支援計画の記載について 13

個別支援計画別表

提供時間	<ul style="list-style-type: none">・ 計画に定める支援時間を記入（利用開始時間と終了時間も記入）・ 曜日ごとに提供時間が異なると考えられるため、曜日ごとに時間を定める。・ 支援の提供時間は原則30分以上5時間（放課後等デイサービスの場合、平日は3時間）以下。30分未満は、算定対象から原則除外だが、周囲の環境に慣れるため等短時間支援を必要とする理由により、市町村が認めた場合には可。
特記事項	<ul style="list-style-type: none">・ 利用が確定している曜日以外に、事業所の空き状況等により利用が想定される場合には、想定される提供時間を記入・ 市町村が認めるものとして、30分未満の提供時間となる場合には、その具体的理由を記入・ 利用者や保育所・学校等の都合により、通常の計画時間とは異なる時間区分で算定するような状況が想定される場合（例：通常は1時間だが、学校の短縮授業等により3時間になる日が想定される場合等）には、想定される具体的な内容を記入 等

個別支援計画の記載について 14

個別支援計画別表

延長支援 時間	<ul style="list-style-type: none">・ 5 時間（放課後等デイサービスについては、平日は 3 時間）を超える長時間の支援については、その預かりニーズに対応する延長支援時間を記載。・ 支援前、支援後それぞれ 1 時間以上記載すること。合算での 1 時間は不可。
延長を必要 とする理由 及び時間	<ul style="list-style-type: none">・ 例①：保護者の就労、妊娠・出産、病気・負傷、介護・看護、レスパイト等、延長支援を必要とする理由と時間を記入・ 例②：常時延長支援を必要としないが、個別の事情（※）で延長支援の必要が生じることが想定される場合には、想定される具体的な理由と必要となる時間を記入 <p>※例えば、保育所や学校の都合（短縮授業等）で、支援の提供時間の変更が必要となり、延長支援が必要となる場合等を想定</p>

ご視聴いただきありがとうございました。